



郷小だより

茅ヶ崎市立浜之郷小学校

2022年6月1日

6月号

校長 木村 千裕

学校教育目標 ～支えあう・聴きあう・学びあう～

子どもたちが自分を再発見し、友だちを再発見し、学ぶことの価値と意味を再発見して「人生最高の6年間」を生み出す学校、そして、その営みを通して教師も親もともに育ちあう学びの共同体としての学校でありたい。

紫陽花が色鮮やかに映える6月を迎えました。日本気象協会の予想では、梅雨入り後1か月の平均気温は「平年並みか高い」そうで、気温だけでなく、湿度の高い日が多くなるそうです。気温や湿度の上昇に伴い熱中症の危険性が高まっています。そのため、新型コロナウイルス感染症対策を行いながら、熱中症予防を行う必要があります。

学校では熱中症予防のため、マスク着用の不要の場面として「体育の授業」「中休みや昼休みの外遊び」「登下校時」を各学級で子どもたちに伝えました。その際、新型コロナウイルス感染症対策として、「他の人と近くに寄り過ぎないようにし、お話ししないようにする」「マスクを外したくない場合はつけてもよいが、少しでも体調がおかしいと思ったらマスクを外し、運動や遊びをやめたり、日陰を見つけて体を休めたり水分補給をすることと、先生や友達に助けを求めること」を伝えました。暑さに負けない体をつくるため、ご家庭においても十分な睡眠や栄養バランスのよい食事など、日頃からの体調管理をよろしくお願いします。



5月26日の給食に「そら豆」がでました。全校分25kgのさやむきをしてくれたのは1年生です。大きなさやの筋をとって、中からそら豆を取り出す子どもたち。前日に「そらまめくんのベッド」の読み聞かせをしてもらっていたこともあり、さやの中の白い綿を触って「本当にふかふかだ」の言葉が聞かれました。1年生のみんなのおかげで、おいしいそら豆がいただけました。

放課後の校庭を「未来のあなたに」貸してくださいね

昨年の学校だより11月号で、本校卒業生の進学先である、鶴嶺中学校の生徒増加により運動部の活動場所の確保が難しく、陸上部の練習場所として校庭を貸し出すことになったことをお知らせしました。新型コロナウイルスの感染状況により、結果として昨年度の実施はありませんでしたが、今年度は中学校との調整により、月に1・2回の実施をしていきます。陸上部の練習がある日も、子どもたちが遊具で遊んだり、安全に練習を見学したりできるよう、ミニハードル等で仕切りをしてくれます。6月は24日（金）の15時から練習予定です。

